



(令和元年第6号)

●歴史通信担当 大石よりメッセージ。

3月から始まったコロナ騒ぎが全国に広まり今やわれわれ高齢者は家に監禁状態です。

そんな中、令和初めて、傘寿のお祝いに湧く八期仲間の皆さんに、最初の不幸をお伝えしなければならなくなりました。

ごくごく身近な存在だったナイスガイ永野敦士くん(3組)が逝ってしまうなんて思いもしませんでした。

最近の八期旅の常連で最後の四国漫遊の旅にも1番目にご夫婦での参加意思をしていました。

「ちょっと体調不良で今回パスするけど次回は参加するからね」と言っていました。

病気は怖いものですね。特にコロナもそうですが肺の周りの病気にはほんとうに気を付けましょう。こじんまりとした家族葬に無理やり参列させてもらいました。

裕次郎の「粋な別れ」が流れていました。

…以下は敦士くんの奥様から皆様へのメッセージ

八期会の皆様

永野洋子

この度の夫、永野敦士逝去に伴い入院中より励ましのメール、お心遣いを沢山頂きまして本当に有難うございました。

正月早々より手指、足指の脱力感に見舞われ南風病院にて、脊髄梗塞という病名を告げられ入院・治療に入りました。

2月4日より八反丸病院に転院してリハビリに励みました。

3月4日の退院の喜びもつかの間、発熱状態が続きました。23日に再び南風病院に行きましたら、「間接性肺炎急性増悪」という病名で直ちに重篤状態におちいりました。

言葉もはっきりしていましたが入院して4日目頃から本人が息子に「自分はもう寿命かな?」と言ったようです。その後まもなくして「脳梗塞」を併発して、言葉を失ってしまいました。

肺の治療、脳梗塞の治療と病院側も最大限の治療に当たってくださいました。

本人も「生きたい」信念で子供や孫たちに、動く方の手で握手や、頭をなでたりして最後まで父親、おじいちゃんの存在をアピールしていました。まだまだ「希望」を持ち続けたかったのですが、残念ながらとうとう力尽きてしまいました。

・・・八期会の団結力にはいつも自慢していました。グループLINEを見るのが楽しみでスマホを常に見ていました。子供たちにも自慢して見せていました。テレビでは龍作じいさんの孫娘・勝みなみちゃんの大ファンで、ゴルフに釘付けで大声で声援を送っていました。

これから先の人生も八期会の皆様と旅を一緒したり、交流が出来ると楽しみにしていましたのに本人もさぞかし



残念なことでしょう。

八期会の団結力は玉龍高校の宝だと思います。まだまだ80歳！皆様の更なる発展を！主人も天から見守っていることと思います。
お礼を込めて・・・永野洋子

○ このサイトの題でもある歴史も、維新に始まり、戦国島津まで薩摩の歴史を学んできました。

いまちょっとひと休みの感じがします。

八期会はSNSのLINEのなかで交流が盛んです。

八期会の中心人物の浜崎 隆くんも加わりました。

今後も交流の輪を広げていきたいと思っています。

相方（奥様か旦那様）がスマホ保持者ならどうぞ大石までそのスマホの携帯番号を教えてください。

○大石さん、こんにちは

いつも 情報 提供いただきありがとうございます。

コロナウイルスで 外出もままならぬ マンションで過ごすことが多くなっています。

急に 温かく 夏日のようになっています。

朝 屋上で 健康体操を 12～13名の有志 自己責任のもと 行って 運動不足を補っています。

さて、八十周年 記念同窓会の件 あることすら知らなかったですが 離れていると このために帰郷することも難しい状況です。2週間前にメールに ウイルスがくっついている？ 注意してほしいとの連絡を受け PCのメール送信ができなくなり 購入元の 有馬さんに 問い合わせたりして 最終的には 最初 もらっていた立ち上げ用のカセットで 息子に 一度 白紙に戻し 改めて ウィンドウ10を 入れなおすということでヤフーニュース、メール、ワード、エクセルなど もとに戻りました。しばらくは 問題なさそうです。

八期往来 4月号 いただきました。突然 会員のご不幸 もう 傘寿を迎えた われわれは いつ同じような運命になるかもしれないということを 思いながら 残された 寿命を 楽しく 元気に過ごしていきたいと思えます。延命治療は無用と 文書作り 息子、家内に 昨年正月に 署名、押印したものを 救命情報キット の中に入れ 冷蔵庫の中に 入れてあります。（冷蔵庫の扉に 中に入っていることを示したものを張り付けています。） だんだん 投稿する人も 少なくなってきたようです。では コロナウイルス 感染に注意して お過ごしください。5月に帰郷しようと考えていましたが 飛行機が 飛ばなくなり 取り消しました。

木場 祥雄

○山本博文の本読んでみたい気もします。

『街道をゆく3』はもう一度太字の文庫本で読み直してみたいと思っています。

上記の新聞解説の切り抜きは下の添付資料とします。

大石

○「街道をゆく」は、関心がある地域のものしか手にしたことはありませんが、よくまあ調べたものだと感心させられます。

関ヶ原の決算書 全国 2400 万石、徳川 800 万石で3分の1 福島正則、加藤清正などを潰して得た。

ことによっては、25%を抑えれば全体を抑えることができるとされています。

西山 和宏



○山本博文氏の「関ヶ原」の決算書は新潮社から4月17日発売となっていますから恐らくこれが絶筆となったので
しょう。ネットで調べると目次に島津義弘を中心に島津氏の項目が多いようです。

今度、街に出たとき買います。

司馬遼太郎の「街道をゆく」は本屋で立ち読みするくらいでした。

テレビ番組では何編も見っていますが、鹿児島と関係の深いところだけでもこれからでも読みたいです。

クマモト タツオ

○隈元くんへ!

関係の本、何冊か読み終えましたのでいつかお貸しします。今カミュの『ペスト』読んでいます。進み方
が遅いです。本田氏のブログ『島津二つの戦法』iPad で読んでいます。 大石

○コロナ騒ぎの自粛も7日以降は、いくらか緩和されそうですね。

そのときはまた会いましょう。

むつかしそうな？ 本を読んでいますね。

クマモト

○ペストを読むとは凄い

私は、徳永真一郎 ものを楽しんでいます。

そのため、本来やるべきことに支障をきたしそうです

そのような本こそ、読む価値があります。

昔からそうで、玉龍時代、試験中も貸本屋通いでありました。 西山

○皆様 諫早の森永鉄美です。

世の中 どこまでつづく ぬかるみ じゃなかった新コロナですね。

市役所の広報スピーカーは 不要不急の出歩きはやめましょうと放送するし 外に出れば 電光案内板
が 同じように 出歩くな と・・・

でも先日 あまりにもいい天気で 島原半島北有馬までひと走りしました。

北有馬の街路樹 **ヒトツバタゴの花**が見ごろなのです。

それに 島原の乱の幕府方拠点 **日野江城跡**も近くにあるのです。



写真添付します。
歴史の世界 想像
を逞しくするのも一
興かも ですね^^

地藏尊 祠は新し
かったけど 中の地
蔵様は古く 天使の
羽を付けているよう
でした。

・・・ 小さいほうの像 お顔はあとで付け足したような ・・・

安置された像 たぶん後世の人が見つけ このように祠に祀ったものでしょう。

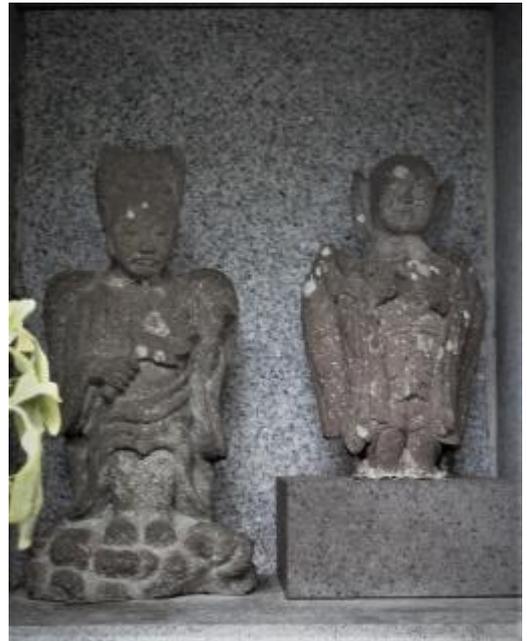
有馬藩の 仏教→キリスト教→キリスト教禁止へと 宗教の変遷をもろに受けた証かも と思いました。

発掘された城内の大通り 石畳の道、敷石に仏教様式の墓標や灯籠などが使われていました。

これは キリスト教重視 仏教弾圧 の時代の証ですね。

島原の乱 薩摩藩は家老山田民部が1,000人程を率いて参陣しているようです。

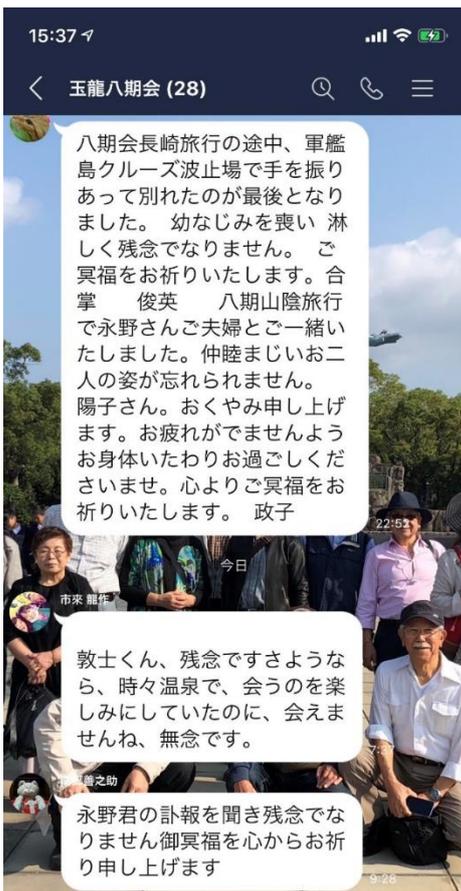
長崎 諫早 森永



〇5月4日

日本の故郷のような石中先生行状記に書かれたような風景を思わせます。このような心長閑な風景にあまり接したことがない私には羨ましい限りです。そこを疾駆したとは. 西山 和宏

〇永野敦士くんは令和2年4月27日特



定何とかに指定されている千葉から、堀添です。永野敦士君が亡くなられた訃報、びっくりです。がっしりした体躯で、最後まで同期の死に水をとり方だと思っていました。友宏の家に寄っていた残りは、私と小森だけになりました。小森、元気か？

永野君に合掌〇小森くんとても元気です。お通夜（家族葬）にも益崎さんと出られました。傘寿の年は八期生にとって要注意な一年になりそうです。太石〇永野さんの訃報、驚きです。病氣療養中だったのでしょか。大きな目をぎょろぎょろさせながら話す姿がとても印象的でした。軍艦島見学後の棧橋で手を振り合ったのが最後となりましたね。お互い八十路に入り、いつ迎えがきてもおかしくない日々を迎えています。

お互い「生ある限り」悔いのないようにすごしましょう。 合掌
佐倉市 古市

○5月6日

コロナ対策のための全国一斉のGW 休日の最後の日です。新聞も明日は休刊日とか。朝起きてスマホのSNS（LINE・フェイスブック）をチェック。テレビの今日のビデオ録画版雲を設定。新聞に目を通し、コピー（スマホに）するのがあるかチェック。シェーバーで顔をそりながら朝の情報番組（主に羽鳥慎一モーニングショー）を見る。・・・朝食までのスケジュールです。読み終えて、やはり「目から得る知識」は身になるナと思うことでした。この数年、世の歴史ブームと歴史好き友人のおかげで一それまで目で入る知識（読物）は純文学が中国文学（まあ大衆小説がほとんど）だったけど一ほぼ中学校と高校（授業があったかなあ）の6年を試験のためでなく自分の楽しみとして学んでいる。知りたい欲望と瞬時に解かしてくれるインターネット社会のおかげで興味は尽きることはない。ヒストリーと言っても幕末から維新にかけての薩摩藩史などは時代で言えば自分たちの曾祖父母の時代だし戦国武将の時代にしても450年前（より少し前）の話しです。自分の一生を考えると大昔の話ではないのですがね。今日はコロナ休み（GW）5日目で家に籠城するナも疲れます。

余談が長くなりましたが、書きたかったのは今日の新聞『天下人たちの夢⑤』武家官位制一は勉強になった話です。なぜ鎧兜に身を固め戦場を駆ける戦国武将（大名）たちが官位・公家姿の肖像画ばかりなんだろう、とは時々思いながら読み過ごしていました。今日の新聞記事を読んで又ひとつつながりが解けた思いです。
新聞切り抜き記事は下に添付します。 大石

○私もこの記事を読んで、「猿」とも揶揄された秀吉の戦略の巧さを改めて思いました。

秀吉はやはり只者ではなかったというのを知りました。

私みたいに薩摩は島津・西郷一辺倒で歴史を楽しんでいる「にわか歴史愛好家」にとって、薩摩と天下人とのつながりを知るいい教材にもなります。

とは言いながら、去年の島津義弘没後400年について未だに引きずっているのですが、そのことについてブログも思うように進んでいません。

「島津義弘に連なる人脈」は現在7人までいきましたが、次は「島津義弘の女たち」を2, 3人取り上げようと思っています。

それが終われば「島津義弘の家臣団人物列伝」なども……。途中気が変わって変更があるかもしれません。

クマモト タツオ

○戦国武将が鎧兜ではなく衣冠束帯には大きな力があつたのでしよう。

天皇とそれを取り巻く公家力がないようで、力があつた

そもそも征夷大將軍という肩書が天皇から与えられたもの。

幕末に、京に集まって勤皇だ佐幕だ、攘夷だ開国だと騒いだのも天皇とそれを取り巻く公家に隠然たる力であつたからでしょう。 =====西山 和宏

○義弘の女たち・・・面白うそうなテーマ

義弘は関ヶ原から薩摩への逃避行の最中にもかかわらず、大坂城に人質に取られていた自身の妻、芳と亀壽を救出し共に船で帰国した。西山 和宏

○私も義弘の女たちで宰相殿（義久室）や亀壽（忠恒室・義久の娘亀壽）の二人は欠かせないと考えています。

クマモト

○「島津？のおんなたち」で気になっていることですが、忠恒（義弘の子・亀壽の夫）の愛人たちとその子たちの数は半端じゃないですよ。

異常な女好き？別な理由？子供達は皆島津姓ですか？中に有名な人は？……興味があります。

2020年5月6日(水) 19:56 大石慶二 <kjoishi3@gmail.com>:

○今回は「島津義弘の女たち」を書こうと思っています。 クマモト

忠恒の男の子は wikipedia によると13名まで確認できますが、19代光久を初めそれぞれ名をなしていますが、養子になった男もいるようです。

島津忠恒(家久)の女問題は、側室などに33人もの子供を産ませたということなので、いずれ取り上げますかね。隠れクリスチャンと言われる豎野カタリナ(通称カタリナ婦人)など絡む有名な女たちが数名います。

○久々の街はどうでしたか。

これだけ、家に居ると出るのも何だか億劫に感じます。不思議なものです。

「街道をゆく 陸奥のみち、」ですか。大石くんはレパートリーが広い。感心します。

ところで店はいつまで休みですか。

大石くんは自主的に店を一時的に閉めたのでしょうか、鹿児島県は、今日からいきなり自粛解除の業種やホールなどが多いようですが、それはそれで心配ですね。私たち自身がゆっくり動かなくてはと思っています。

クマモト

○アマゾンばかりで、久しく本屋には 行っておりません

読みかけの人に迷惑かもしれませんがカミュ「ペスト」は教えてくれるを送ります

メール 4本

○ありがとうございます明日プリントアウトして読みます。感謝!! 大石

○テレビで得意げにしゃべっている不要不急の外出を控えろという専門家の中に散髪屋に行った男がいる。

2メートル離れろと言いながら晋三君の後ろには密着した男どもがくっついていきます。

通勤客が乗る中央線・山手線を止めろとは誰も言いません言えません。

接触を8割削減しろと言いますが幾らから幾らになったら8割なのか分母も分子も示されていません。

東条英機は敗戦間近になってもう少し国民が頑張ってくれると思ったが見損なったと嘆きました。

本降りになって 出て行く雨宿り

西山

○大石さんこんばんは

いつも 鹿児島情報いただきありがとうございます。

麓 世界遺産に制定されたとか 遺産に登録されたら 後の管理 たいへんようです。

私は 大石さんからの情報も 興味深く 読んでいますが さらに これらに対して 隈元さん 西山さんのコメントが 回ってくるのを見るのが また 楽しみ 複数回 楽しめるということです。

ありがとうございました。

また よろしく コロナウイルス 鹿児島の方は 近いうちに 自粛が 終わりそうな感じです。

生駒は 大阪のベッタタウンですので こちらが 解けないことには 終わりそうにありません。

外出を やめ マンションの中で 生活しています。

木場 祥雄

○おはようございます

「鹿児島麓」で検索したら一覧リストが表示され立派な門構え、石造りの塀で囲まれた屋敷が見られました。

終戦直後の鹿児島市内は鹿児島駅から市役所や山形屋が見通せました。

郡部は戦災に遭わなかったようです当たり前ですが 意外でした。

○調べてみましたが、ホームページは写真や地図などでわかりやすく出来ていました。

県内9市にある12の麓が紹介されています。

12麓の中で私が行っていない麓は甕島（現在は薩摩川内市）の里麓と手打麓、大隅半島の志布志麓と垂水麓です。行ってみたいですね。

もっとも1615年の「一国一城令」で鹿児島城（鶴丸城）以外はなくなり、それに代わって外城（とじょう）・麓が置かれ「御仮屋」とか「地頭仮屋」を置いたが、その数は90（諸説ある）と言われる。他に日向国に21ヶ所あり。今回の日本遺産はその中の12ヶ所である。クマモト

○甕島は上中下と三島が橋で繋がりましたっけ？

八期鹿児島歴史グループで行ってみたいですね。

添付記事を読んでいると『肥薩線歴史ポップ鉄道旅』1泊2日も行きたいし、『庄内・佐渡原1泊旅』も延期のままでですね。

里や手打にも城があったのですね☺️ 大石

○5月8日 大石さんこんばんは

残念ながら みれません。このファイルのプレビューを表示できません。

このファイル形式用のプレビューアーがインストールされていません。と表示されました。

ありがとうございます。もう 結構です。 木場 祥雄

○5月9日の西山くんの画像の添付（4部）から始まったトーク集 大石

○「勲章はいらない」

万世特攻平和祈念館建設秘話

○西山さん

こんにちは

世の中は コロナウイルス で 朝から晩まで TV、メディアは にぎわっています。

さて、本日は 「勲章はいらない」という記事メールしていただき 一気に読んでしまいました。

人は それぞれ いろんな人生過ごし方あり、それぞれに 満足された人生であれば 他人が

つべこべ言うことはない・・・と思えます。



矢内家の家族 長男の万世飛行場から 出撃された特攻隊 悲しい思い出 を背負いながら
今まで 暮らしてこられ、人生を終わろうとされて されておられます。

一言 言いたいのは この万世特攻隊基地の記録が残されていない、日本が戦争破れた時に
日本の指導者が すべて焼き払い記録を残すなどの命令で 貴重な記録がほとんど残っていない
日本は ここが 問題です。

今の時代でも 同じような ことが 政府内で 行われています。 役所の公文書は 仕事をして
行くための 大事なことです。米国は 公文書 しっかり 保存されているように聞いております。
簾造の遺骨のあたりは 私の父も 南方の戦地で なくなっていますので 同じ思いがしています。
お母さまが 国から 功四級金鷄勲章と勲六等旭日章 が送られてきた時に 「勲章なんかいらない！」
と叫んだ。とのくだけはこみあげてくるものがあります。

よく自分の母親が 男兄弟 3 人を 育ててくれたとものだと感謝した次第です。(もう 30 数年前に他界して
います)

5 月に 帰郷し 万世特攻平和祈念館を訪れる予定にしておりましたが コロナウイルスで 飛行機便 キャン
セルで帰郷 取り消しとなりました。 次回にします。

記事 メール 送信ありがとうございました。

木場 祥雄

○日本は戦勝した日露戦争でも正確な記録がないと司馬遼太郎が「坂の上の雲」執筆に関して言っています。
戦争の記録を書く担当者のところへ入れ替わり立ち代わりやってきて手柄話をして記録に残すことを要求した
そうです。そのため、後に残す記録を作成できなかったそうです。

軍の配置図だけは、真実を書かざるをえないそうです。

乃木希典は、203高地攻略に日本を発つ前にそれに参考になる戦史を見ることはなかったそうです。

ところが日露戦争で敗れたロシアにはありのままの記録があったそうです。

戦争に負けたから責任を問われそうな記録を残すなど言ったかもしれませんが、極東軍事裁判が開かれること
など想定していなかった思います。

ボストン、ハーバード大学の構内に従軍戦死者の名碑がありますが、無名戦士者という考えはなく
判明するまで調べるそうです。

ワシントンのアーリントン墓地には戦死者の妻も共に葬られています====西山 和宏

○西山さん

特攻隊はもちろんのこと、夫婦の絆の問題が大きなテーマですね。

私の父も昭和20年6月1日にフィリピンのルソン島で戦死しています。あと76日生き延びればよかつ
たと思っても後ごとに過ぎません。

ブログのエッセイに父の戦死のことは何編か書いています

<https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/diary/20190816>「大叔父の涙」などです。

我が家にも私が県外在住中に勲章と一枚の「紙切れ」が送られてきていました。その後、鹿児島で生活するよ
うになり20年ぶりに帰郷し我が家を建てました。しばらくして、私が県外在住中に母の面倒を見てくれて
いた姉夫婦が来て義兄から「お父さんの勲章などがあって飾らんのか」と言われ父の写真などと並べて鴨居の
上に飾ったのですが、そのうちそれを毎日眺めていて無性に腹立たしく思いました。「勲章はいらない」と言
われたという矢内静六さんの母親と同じ心境です。しばらくしてそれはずしました。それっきりで今は我が
家のどこかに眠っていると思います。 クマモト

○金鷄勲章と言えば最高の勲章だと敗戦直後、小学校の1～2年生の頃にも聞かされていました。

易居町から鹿児島駅に向かって行く途中左手角に農協の建物が残っていました。

その前の路上で、金鶏勲章その他の勲章を売っている者がおり、親たちが話題にしていました。

私はただ単にお金に困った人から買い取ったものぐらいに考えていました。

「勲章はいらない」とクマタツさんの話から今頃になって、金鶏勲章が道端で売られていたっ本当の理由が分かりました。

ついでに言うと、勲章売りのおっさんは刻みたばこを紙に巻く、小道具も並べていました。西山



○木場様 西山様 大石様 隈元様

いつも配信感謝です。

戦時中 敗戦後を体験した世代 衣食住すべてに困窮した時代を体験した最後の世代が我々かもですね。

戦時を知らない人々が大多数となった今の世 コロナ騒動は新しい変革の時代の幕開けかもしれません。

私の住む諫早にも 戦時の名残りが残っています。 当時の敵国爆撃機 B29撃墜にかかわるものです。

参考写真を添付します。

終戦直前 自分は鹿児島・大隅での田舎暮らし

ここで B29と日本の戦闘機の空戦を目撃、B29 一機が撃墜されるのを見ました。

この光景と諫早でのB29墜落の光景がダブって見えました。

自分に 若干 戦中派の心が残っているのでしょうかね。

長崎 諫早 森永

○ B29の撃墜とは凄いものを見ましたね B29、米国のT型フォードと同じようにワンモデル大量生産の典型的なものでした 西山

○5月13日 クマモト タツオ

やはり今回のコロナ騒動は世界に大きな影響を与えそうですね。

改めて、かおりさんが講演をされた時に買った「エルドアン・トルコ」を読んでみたいと思います。

秀吉の動向は島津の動向ですね。大石

○ 秀吉の最後の城「京都新城」のこと初めて知りました。

2020年(令和2年)5月13日 水曜日

秀吉、最後の城、発見

御所から石垣、金箔瓦

幻の京都新城遺構か

「京都新城」関係年表

1597年	徳川秀吉自陣、築山築城
1598年	豊臣の役所跡、信濃新城完成
1599年	秀吉死去
1600年	徳川院が京都新城に降参
1601年	京都新城の門や塙、石垣を壊す
1602年	関ヶ原の戦い
1603年	大志原の陣、徳川氏降参
1604年	高台院死去
1605年	京都新城跡跡地

青景に秀吉の望み
大塚歴史博物館研究主任の松浦信雄さんの話。秀吉が内川の近くに京都新城を建てた青景には、天幕を築き住る間白に皇子の秀頼を就かせたといふの裏面があったと考えられる。自身が年を履く中、一代で築いた豊臣政権を歴史にしたいという思いもあったのではないかと。今回の発掘で発見された瓦は、榎原の発掘した部分に金箔が施されており、秀吉の瓦。京都新城の造りが豪華だったことが想像でき、秀吉が京都を政權の拠点として重視していたことがうかがえる。

日本史の激動を感じる
森田典人・関西大学大学院非常勤講師(考古学)の話。一般の知名度が低い京都新城はこれまで実存を証明できる考古資料が欠いていた。地下深く埋もれていた石垣は、構造や金箔瓦などから慶長2(1597)年製造のものに違いなく、豊臣政権下、築山築城の拠点の移動を示す城郭遺構として立証された意義は大きい。石垣は20年の築城を鑑み、遺文かつ見事な造りで、秀吉・秀頼の往来をほうふつとさせる。天下人が駆馳する前後の「日本史中絶の激動」を肌で感じさせる。

石垣の上層は、関ヶ原の戦い(1600)の戦況を窺うことができる。秀吉の陣地として用いられた瓦は、関ヶ原の戦いで用いられた瓦と異なるという。関ヶ原の戦いで用いられた瓦は、関ヶ原の戦いで用いられた瓦と異なるという。

これを読むと、秀吉の政権構想が遠大なものだったことが覗えますね。徳川家康に天下を取られたことも知らず、その後の日本のいく末も知らず、逝ってしまった秀吉は幸せかもしれないと思うことです。それは、私たちも同じで子孫がどういう世の中で、どうい生き方をしていくかわからないまま生涯を終わると同じですね。

つまりは、権力を誇り、あるいは財を蓄えても死んでしまえば一緒ということです。現実をしっかりと生きるに如くはないということだろ思います。

今日は家内と一緒に再び吉野公園に行ってきました。片道55分バスに揺られての小さな旅です。昨日、新聞で「ばら」がキレイだという記事を読んだからです。先日4人で桜を見たときよりも少し多いくらいの人出でした。寒くなし、暑くなし、晴天の最高の日和でした。桜島も開間岳も霧島連山も錦江湾も綺麗でした。後ほどブログにアップします。 クマモト タツオ

○クマタツさん

楽しく優雅な日々をお過ごしの様子奥さんも幸せそうですね！

がけ崩れや、地震での埋没でもないのに遺跡は、なぜ、地中に埋まっているのでしょうか？

=====西山 和宏

○読みたい方は返事ください。これでも読めると思いますが。大石 資料はあとで添付します。

○○5月13日

感染症とは実に悲惨なものです

日清戦争には勝利したが、当時、中国では流行っていたコレラに故郷に錦を飾るべき凱旋すべき将兵が罹病した。

それを後藤新平が検疫を徹底的に行って国内の蔓延を防いだ。

今日の新型コロナ対策を見ると、徳川幕府の幕末をみるような感じがする。勝海舟は西郷さんに幕府には人材がない、私利私欲に走る者ばかりだと、内情を語り西郷さんに、倒幕の方向へ向かわせた。

もう1つ、終戦前夜に似ている「欲しがりません 勝つまでは」「足らぬ足らぬは工夫が足らぬ」に倣ってか、標語造りにいそしんでいる。

うまく終息すれば、晋三君と専門家のお手柄長引くと、言うことをキチンと守らないお前たちが悪い

不要不急の外出をするなど言いながら今日も床屋に行き髭も剃ってもらった感じの専門家がテレビに出ていた。

テレビを覗いていると腹を立てる種ばかり。...

それにしても習近平を迎えて、晚餐会をしたかったばかりに初手が遅れた。



いいね! コメントする シェア



=====西山 和宏

〇・・・終戦前夜に似ている・・・ 同感です。
メディアも 今コロナ色のように思います。
長崎 諫早 森永

〇スペイン風邪は、まさに現在のコロナ騒動の先行事例だったようですね。

大石くん送信のメールを見てそのあまりのそっくりな状況に驚きました。

他所から帰った人が持ち込んだというのもそっくりです。

坊津の集落も人口の半分くらい、日本の人口の半分(当時を調べると 5667 万人)くらいが罹患したといえますから、よく日本が保てたものだと思います。ただ現在と違うのは現在は医術や衛生観念の進歩があったからでしょうか。

今日、鹿児島県は解除されるようですが、スペイン風邪の前例にもあるように第2波の襲来も予想されるし、これからが本番と思って用心しないといけませんね。中国や韓国もそのような経過を辿っているようですから気をつけましょう。 クマモト

〇新型コロナ対策は右往左往、真の専門家の登場が望まれます。

マスクやソーシャルディスタンスは必要だが発症しても自宅療養で、しばらく様子を見ましょうと言われたら、運を天に任せて自力治癒を祈るばかり我々は、そんな政治家たちを選んでしまいました。

西山 和宏

〇今、5月17日14:31分です。永野和枝さんからのかなり長い電話があり、中断しました。失礼！大石

〇秀吉最後の城、幻の「京都新城」初めて出土 逸話に沿う石垣破却、桐や菊文様の金箔瓦 | 社会 | 地域のニュース | 京都新聞 大石発

<https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/243455>

〇ありがとうございます。参考になります。 クマモト

〇興味深いニュースですね！ 5月14日

幕府は嘉永7年(1854)に再び来航したペリーと日米和親条約を3月3日に締結した。

次いで、8月23日イギリスと12月21日ロシアとも和親条約を締結した。

これらの条約締結を朝廷に報告したのは翌年の安政2年9月18日であったが朝廷は、特に反対の意を示さなかった。

これより先の安政元年(1854)4月6日、女官の召使が梅の木についた毛虫を焼いたところ、その火が建物に燃え移り、内裏や仙洞御所が全焼した。

朝廷は、これらの再建費用を幕府から出して貰うために、機嫌を損なわないように気を使った。

条約締結を上奏された孝明天皇は「仕方がないことではあるが、不本意」と漏らされた。

内裏を焼きだされた天皇は聖護院に退避し、その後、桂宮家(かつらのみやけ)を仮皇居とした。安政2年11月23日、桂宮家から新築なった新内裏へ戻った。

〇大石 慶二、古市庄八郎 様

お元気ですか？ このところのコロナ禍では、如何お過ごしですか？

当方は、余り気にしないで過ごしていますが、一番の問題は、この世界的なウイルスの病害の蔓延で、世界的な経済恐慌が起きる可能性があり、それが最も心配されます。

出来るだけ早くこの収束が成就するように祈りたいです。

お互いに、自分の健康維持には気をつけましょう。

当方も、糖尿病の方はキャリア30年以上ですが、今はこの病の指標でもあるグリコヘモグロビンA1Cの値も6、1%で正常値ですが、その分、今は腎臓のクレアチンなどの値が極端に悪くなって、人工透析の一手手前であり、昨年からは食事も「腎臓食」にガラリと変えて、体重減量（昨年より15kgほど）と糖分を多く摂取、蛋白制限、塩分1日6g、野菜は温野菜、果物は缶詰という具合です。まだ「脊柱管狭窄症もリハビリを続けており、「満身創痍」の状態です。

ただ、週2回のヘラブナ釣り、月2回のゴルフは今も続けています。家内も3年前に乳がんの手術を受けましたが、今は、安泰に過ごしています。

ところで、昨年の、永吉南郷会の研修旅行で初めて訪れた小林市堤地区にある顕彰碑（詳細は下欄に自身の「ブログ」の記事を転載）に、5月13日、無事、それについての「案内版」を永吉南郷会にて設置作業を終わりました。

実は、研修旅行の時も、その飛び地の出身者である郷土史家の陣健三郎氏の案内で訪れることができたのです。

その時に彼から顕彰碑があるだけで、「案内版」もないので、今は地元の方々も知られていない「顕彰碑」であることで、永吉南郷会で「案内版」〔看板〕を設置してくれないかとの要望があり、小生が小林市当局と交渉して、この度の案内版の設置が出来ました。

小林市の学芸員の方々や、地元の方々も、大変に喜んでいただきました。

永吉島津家、あるいは島津豊久公に関する、ひとつのモニュメントが、また新たに「公」になったと自負しています。

今後、豊久ファンも、皆さんで訪れてもらいたいと願っています。

この土地は、小林市所有地にあり、地区の公民館の脇に、「西南戦争」の顕彰碑と共に、この「飛び地の顕彰碑も並んで建立されています。

所在地、道順などについては、訪れる時があれば、ご連絡ください。 お知らせします。

今日はこの案内版設置についての「お知らせ」をさせていただきました。

今は世界中にコロナ・ウイルスの蔓延が危惧されていますが、早い収束が待たれます。

何よりも経済活動が恐慌にならないように、そして健康が維持できるように、皆んなで頑張りましょう！！

2020, 5, 15、 本田 哲郎

○

令和2年4月5日付けの小生の「ブログ」を転載します。

URL iuk000008.blog44.fc2.com/ 「 中期高齢者である田舎人のタワゴト」

（10年前に立ち上げたのでその時は まだ、中期高齢者でしたので・・・）

○永吉島津家の「飛び地」小林市堤地区の「関ヶ原顕彰碑」について。

昨年に実施された我々永吉南郷会〔永吉地区における史跡保存維持ボランティア団体とも言える）の会員研修旅行で、宮崎県佐土原や都城などの島津家関係の史跡などを訪れました。

その時、従前から知られていた永吉島津家の「飛び地」とも言われている小林市堤地区にある「顕彰碑」も初めて見学しました。

この顕彰碑についての由来やいきさつについては詳しく後述します。

その時、案内人として、知人である陣健三郎氏に依頼して現地へ行きましたが、

その時に、顕彰碑についての「案内版」もなく、訪れる人にとっても、この顕彰碑がいかなるものであるかが、良く理解できないということになりました。

その陣氏の提案で、この碑にゆかりのある永吉南郷会で、適当な「案内版」を設けられたらとの意向が示されました。

そこで、早速、永吉南郷会の役員会で討議して、何とか予算の工面が出来れば、訪れる方々に対しての「案内版」を設置することにして、この地の所有者である小林市と協議することになりました。

成り行き上、自分が担当するとになり、その後、小林市教育委員会社会教育課の担当者との打ち合わせを数回行ってこの顕彰碑のある堤地区の公園を管理している地元自治会や関係者の方々の了解もいただいたことで、昨日（2020, 4, 3,）にこちらで作成した「碑文」の内容、さらに案内板の「見取り図（看板専門屋さん作製）を持って、仲介者の陣さんと共に、市役所に伺いました。

その前に、予め、陣さんと現地で待ち合わせて、ある程度の設置場所の選定をしてから、市役所へ行きました。

市役所では担当者2名の方に「碑文」[案]と案内版の見取り図を提示して、大筋の了解を得ましたが、折角の機会だからと、市役所の方々も我々と現地に赴き、設置場所について、大筋の了承を得ました。

ただ、この公園週を清掃管理している地元自「会」などの関係者の了解も必要とのことで、正式には後日返事するとの結論になりました。

ここで、この顕彰碑の由来とその元になった史実について、述べます。

○ 天下分け目の「関ヶ原合戦」[1600年]は東西両軍合わせて16万人とも言われている兵士達がただ一日の戦闘で一気に東軍「徳川勢」の勝利になったことは皆さんご承知の通りです。

その時、いろんな経緯があるものの、豊臣方の西軍として参加した薩摩・島津軍としては、戦いの場では最後まで中立であり、殆んどどちらにも加担していませんが、戦いが終わった後、いざ鹿児島へ帰還する時、徳川軍団の家臣団（井伊・松平・福島家）などが、島津軍の大將、島津義弘を追いかけてきて、彼を討ち取ろうとしてきたわけです。

関ヶ原の戦いは既に終了しているのに、何故、西軍の首領でもない島津義弘を追いかけてきたのでしょうか？

これは関ヶ原以前の「朝鮮の役」やそれまでの「島津の九州制覇」などに向けての島津義弘の武將としての活躍は、東軍[徳川方]からも西軍[豊臣方]からも、「次代の薩摩領主は島津義弘である」とのことは、両軍営からみて、当然の共通認識であり、見方であったと思われます。

そこには、東軍の家臣団にとって、今島津義弘を討ち取ることができれば、将来の島津家はない、自分らに徳川からもらえると「思惑」があったのでしょう。

そのことで、関ヶ原からの帰途である関ヶ原の隣町である上石津町などで残された島津義弘の家臣団と追っかけて来た徳川方の家臣団との激しい戦闘が繰り広げられました。

その時、徳川本陣は何も行動をしていないことに注目いただきたいです。

島津軍は総勢1200名ほどの少ない兵力でありましたが、追ってくる徳川家臣団は3家主体に6000人を上回る兵士が追いかけてきたのです。

その時、島津義弘と少ない付き人達は、先頭で逃げて、戦い専ら義弘の甥子の島津豊久[当時の佐土原城主]や家老の阿多長寿院盛厚などの一軍でありました。

そのことをいわゆる「敵中突破」ということで語られていますが、その戦いは壮烈で、「捨て俄まり戦法」（全員死を覚悟して、少ない兵士で相手に立ち向かい、道路上に座り込み、攻めてくる敵将目掛けて鉄砲を撃つこと）で、相手は多数であり、

ことごとく壊滅されるが、その逃げ道の先には少数の兵士がまた躍り出て、また至近距離から鉄砲を放つことで、徳川家臣団の追跡も、なかなかこれらの時間稼ぎの死にもの狂いの戦闘で、島津義弘への攻撃ができない事態となったのです。

この「捨て妊り戦法」で徳川方の井伊直政や松平平吉なども、重傷を負ったのです。

この時、追手の だが、この少数の兵士の玉碎的な戦いであり、そこで島津豊久や阿多長寿院盛惇なども

ほぼ全員憤死しました。

その島津豊久は元来、佐土原城主であり、その時嫡子もいなかったことで、武士社会の掟でもある、「後継者がいない権力者大名や城主は御家断絶か、領地取り払いの掟がありました。

その時、島津豊久が戦死したことによって、佐土原城は徳川方から、召し上げられる（移封ともいう）事になりました。

そこでいろいろな事情があるでしょうが、島津義弘はその時、既に無事に鹿児島へ帰っており、おそらく甥子の島津豊久が自分のために壮烈な戦死を遂げたことで、佐土原から追われることになってしまい、その島津豊久の家臣団の落ち着き先が定まらず、おそらくを島津義弘の指示で、当時島津家の直轄領であった「永吉」を指定したものと見られます。

そこで3万石であった佐土原城下の家臣団の家族は永吉（当時は3000石）を目指して、南に移動したのです。

所詮はすべての武士集団を収容できる永吉ではなかったのでしょうか。この事は彼らにとっては身近に感じていたこともあるでしょう。

当時の日向宮崎から鹿児島永吉への家族同道の道のりは大変な苦勞であったと想像されます。

そこで、途中で、アチコチ休憩する間に、永吉までは長い行程であり、アチコチで住みやすい所も散見されて、家臣団の一部では宮崎県の高岡や鹿児島県の東郷、谷山、始良などにも、期せずして分散して、住み着いた家臣団もいたそうです。

勿論、主な家臣団は永吉地区まで移動しています。

その中で、最も多く豊久家臣団の武士家族120家族ともいわれていますが、彼らが住み着いたのがこの小林の堤地区でありました。

彼らは、ここで、佐土原からの移住集団として地域を形成し（今でいう個別住宅団地）、そこに自分たちで小学校なども建築して教育にも力を注ぎ、毎年、明治年間ぐらまでは、島津家の祭りや踊りなどの披露なども定期的に行われていたそうです。

さらに、その団地からは当時の小林町4代目の町長、高崎氏や衆議院議員である7代目の陣町長など、地元小林のための要人も輩出するほどでありました。

しかし、大正年間などになって、その120とも言われる佐土原からの移住集団も家族などの仕事やその他の理由で、アチコチに霧散して、今は集団住宅も自然と解体されており、今の現地の方々もこの顕彰碑について知る人も少ないとの事でした。

現在の顕彰碑は明治32年に、時の宮崎の島津家と親しかった秋月家の碑文として残っているだけですが、彼らが、ここの堤地区における島津豊久の家臣団の旧住地跡として、後世に残すための「顕彰碑」であったのです。

後世になって、この度、この顕彰碑に新たな「案内版」が設置できることで、またひとつ、島津豊久公にまつわる史跡が明るみになることで、自分としては、島津家の研究にも、島津豊久ファンだけに、ありがたい事と思っています。

昨日、ひとりでの往復6時間ほどの長時間運転の結果も、結果が良い方向に収まりつつあり、帰りの道程も、快適な走行ができました。

クラシックCDを聴きながらの運転で、思わず料金ゲートでCTCのカードに電源が入っておらずに、料金所の係員に面倒を掛けました。

（CDを聴いている間は自分の車はCTCNO電源がオフになっています。）

今後、歴史愛好家、とりわけ島津豊久ファンがこの地を訪れてくれることを期待します。

2020年5月15日(金) 12:22 本田 哲郎 <t15honda@ml.satsuma.ne.jp>



相変わらずのご活躍（無謀運転—本人はそのつもりではないのでしょうか）感心しきりです。社会（歴史好き）のために貢献されています。記念碑の説明文（案内版）はその碑以上に価値があるものです。

もしかして、と思って、さっそくネットで探し回りましたが「顕彰碑」の写真が見つかりませんでした。本田様のブログはしっかりUPされていました。

ブログの下にぜひ画像を貼っていただきたいです。

小林市のHPによろしかったら『案内板』と関連の文を投稿されたら如何でしょう。小林市のHPはなかなかよく出来ています。『豊久公が取り持つ永吉町と小林市堤区のなが—い話』案外訪問者が多いのでは.....

○大石くんのアイデアは本田さんから市役所にすぐ提案があるのではないのでしょうか。

相変わらずの本田さんの情熱と精力的な動きにはただただ驚くばかりです。

私の宮崎の史跡一覧にも入力しておきます。 クマモト

○その後、小林市役所のホームページなどを見ましたが、本田さんのブログは掲載されていないようです。大石くん紹介の文章の「ホーム」とか上の小さい文字の「郷土史」をクリックしたら、本田さんのブログに戻ってしまいました。ちょっと試してみてください。 クマモト

○家久日向.こちらが先でしょうね。

森くん運転？ちょっと遠いので交代運転？

今回は餵肥はやめます？スケジュール大丈夫でしょうか？家久.豊久にこだわりたいですね。

そのあと別な日に肥後（肥薩）鉄旅行きますか？島津～相良の旧跡ありますか？

永野和枝さんも誘っています。一人部屋に泊まってもらう。

Google 検索 小林市堤地区…で「本田さんブログ」が上がっています。検索ワードに小林市堤地区は少ないです。○歴史旅提案事項調べてみます。運転交代でしょう。永野さんもOKです。

本田さんブログの件、お騒がせしました。了解です。 クマモト

○碑を見たくて（小林市堤地区の島津）で探したらこれが出て来ました。

<http://iuk000008.blog44.fc2.com/blog-entry-459.html?sp>

○この本田哲郎さんのブログを初めて読んだときに、関ヶ原合戦にまつわるこのような逸話があったのかと驚きました。調べれば、こういう話はたくさんあるのだらうと思います。

島津家久（義久・義弘・歳久・家久の四兄弟の末弟で中務大輔の方であり、忠恒のち家久ではない）（前期佐土原初代当主で永吉島津家初代当主）の家臣であった本田さんのご先祖も佐土原から永吉に住み着かれたものと思われます。

前期佐土原島津家は初代・家久と2代・豊久（関ヶ原合戦で憤死）でお取り潰しになり、家臣は追放されて、本田さんのブログにあるように途中の小林や東郷などに新天地を求める家臣もあり、飛び地もできたものと思われます。しかし、主力は永吉に本拠を構え、豊久の弟・忠仍が家督を継ぐことになったが、病弱を理由に辞退したため、喜入忠統の子・忠栄が名跡を継いだそうです。そして関ヶ原合戦（1600年）から12年後の慶長17年（1612）以降永吉島津家を名乗るようになったようです。 クマモト タツオ

○ 5月15日 西山「おひまなときにどうぞ・・・」

西郷どんを別にして、久しく大河ドラマは観ておりませんが今回の明智光秀は観ています。

骨肉相食む争いよりも、光秀が、ほぼゼロの状態から足利義昭、細川藤孝を経て、織田信長へ取り入り城持ち大名にまでのし上がった過程がどのように語られるかに興味があります。

単に主殺しでは、話が簡単すぎる信長、秀吉、家康らは皆 肉親を殺して、または犠牲にしています。それは戦国時代を生き抜くためには止むを得ないことであつたでしょう。

しかし、島津は違った。

武功顕著な義弘は兄の義久を立て争うことなく兄弟が力を合わせて島津家を守った。

=====西山 和宏

○本田 哲郎さま

県案事項が一つ解決されたとのこと、お慶び申し上げます。

先日来、貴ブログを拝見してから気になっていました。私たちの宮崎歴史探訪もこのコロナ騒ぎで実行が叶わないままに春が過ぎてしまいました。

県境超えが許される状況になれば、すぐにでも行きたいと大石とも話をしているところです。

その節には、出来れば飛び地も見学できればと思っています。

隈元 達雄

○ところで、昨年の、永吉南郷会の研修旅行で初めて訪れた小林市堤地区にある顕彰碑(詳細は下欄に自身の「ブログ」の記事を転載)に、5月13日、無事、それについての「案内版」を永吉南郷会にて設置作業を終りました。

実は、研修旅行の時も、その飛び地の出身者である郷土史家の陣健三郎氏の案内で訪れることができたのです。

その時に彼から顕彰碑があるだけで、「案内版」もないので、今は地元の方々も知られていない「顕彰碑」であることで、永吉南郷会で「案内版」[看板]を設置してくれないかとの要望があり、小生が小林市当局と交渉して、この度の案内版の設置が出来ました。

貴男はよく佐土原へ行かれる時があると思います。佐土原からは小林は近いですから、是非、この「顕彰碑」もご覧になってください。

小林市の学芸員の方々や、地元の方々も、大変に喜んでいただきました。

永吉島津家、あるいは島津豊久公に関する、ひとつのモニュメントが、また新たに「公」になったと自負)しています。今後、豊久ファンも、皆さんで訪れてもいらいたいと願っています。

この土地は、小林市所有地にあり、地区の公民館の脇に、「西南戦争」の顕彰碑と共に、この「飛び地の顕彰碑も並んで建立されています。

所在地、道順などについては、訪れる時があれば、ご連絡ください。お知らせします。

今日はこの案内版設置についての「お知らせ」をさせていただきました。

今は世界中にコロナ・ウイルスの蔓延が危惧されていますが、早い収束が待たれます。

何よりも経済活動が恐慌にならないように、そして健康が維持できるように、皆んなで頑張りましょう！！

2020, 5, 15、 本田 哲郎

○5月16日

今朝の南日本新聞に「隼人起つ」という記事がありました。

日頃、私たちがあまり興味を持たない時代のことですが、隼人が大きな力を持った時代であり、隼人には大隅国府や大隅正八幡宮と呼ばれた現在の鹿児島島神宮があり、また隣の国分には国分寺などがあり、大隅地方の中心地であつたと思われる。薩摩には川内に薩摩国分寺があつた時代である。

その大隅国府跡を5年前に訪ねたことがあつたのでブログを紹介します。 クマモト タツオ

<https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/diary/20150515>

○大石アンサー： 情報ありがとう。僕も新聞で読みましたが「隼人」の名前は薩摩の別名？合言葉ではないけど『薩摩』といえば『隼人』と応える、そして興味深々な固有名詞の割には（答えは）昔、南九州にいた勇壮な種族の名称、としかわかりません。

さすが歴史男子。隈元くん「レパートリー（視野）が広いな。」関心します。

ブログ参考になりました。西山万能博士なら又別な「うんちく」がでてくるのかもしれませんが。ね。

なんか新聞の方も続きがありそうですね。

○霧島。国分。方面に、行く途中、いつも隼人塚を通りますが…それ以上のことは 白紙

歴史に、音痴の私です。子供の頃から 隼人を通過するたび

隼人塚つて?? 思うだけでした。

八期の歴史好きの男性 またまたお勉強（ためになる）お話、聴かせてもらえそうです。楽しみにしています。 聞く人(永野)

○永野さん

隼人塚も作られたのは、前記の国府や鹿児島神宮と同じ700年代のようです。この時代が隼人が大きな勢力を誇った時代だったようです。

ここもブログに書いていますので、下記をクリックしてみてください。

なお、最近の報道によると、傷んでいた石像の修復も終わってきれいな姿になっているようです。

まだ私も行っていません。

クマモト

○大石さん

隈元さん

いつも 情報メールしていただきありがとうございます。

隈元さんの大隅国府跡 および ブログ 読みました。 いろいろなところ訪ねておられ ブログ にまめに書いて素晴らしいことと思います。隼人塚 鶴丸場石文化 も読みました。

また、前日も 申し上げましたが これらの 情報連絡に加え 西山さん 関連したころ柄から 映画「隼人族の反乱」の話

など いつも 興味深く 読ませてもらっています。

話は 変わりますが 先日(5月9日)の BS101 地球タクシー「鹿児島を走る」の中で 薩摩川内市 新田神社(新田八幡宮)が案内されていました。 この神社は菊のご紋があり、びっくりしました。

薩摩国一宮 かなり 格の高い神社のようですね。 大隅国府 ともう一つ 薩摩国 川内にあったとかこの神社 創建は 725年とか言われております。

八期会のメールを見ていると いろいろと 知識が 豊富になっていくような気がします。ボケないように いつまでも 好奇心をもって生活するよう心掛けたいと思います。

木場 祥雄

○森繁です。 薩摩川内市の新田神社は薩摩三山稜の一つ可愛（えの）山稜（ににぎの尊を祭る）のある山に鎮座しているため、皇室ゆかりの菊の紋章を付けているのではないのでしょうか。ちなみに他の二陵は鹿屋の吾平山稜と溝辺の高屋山稜です。新田神社は若いころ川内市に住んでいたため子供の七五三などでよく参拝したものでした。○

○5月17日

南日本新聞に昨日に引き続き「隼人起つ」2回目を大石くんが添付してくれたので感想のみ送ります。

今日の記事にもいろいろ興味深いことが書かれていますが、驚いたのは隼人が「大隅隼人」だけではなくて「阿多隼人」があったということです。

そこで wikipedia で調べると、私たちが勇猛さの代名詞みたいに使っている「薩摩隼人」は「阿多隼人」のことを言っているみたいです。

ただ、私が思うのは最初はそうであっても最後は「大隅隼人」も「阿多隼人」も含めて後の時代には「薩摩隼人」と呼ぶようになったのかなと。あくまでも、推論ですので、ご存知の方は教示ください。

記事全体、読みにくいでしょうが、書いてあることは初めて知ることが多く、今日も目からウロコという感じです。 クマモト

○コロナウイルス…初めのうちは

Kくんも、言っていたと思いますが🤔 (コロナ なんか 蹴っ飛ばして やる) 私も、それに便乗して 平気で …… 寺山に山菜取りにいつたり。。映画、カラオケ、年寄りの遊び場 吉野台散策 などなど 遊びまわっていました？

あから、4カ月余り家にこもった生活 コロナの恐ろしさをいっぱい知りました。

解除されても 三密の場所 映画、カラオケに行く気にならなくしている 大明丘の老人達です。

私も基礎疾患をもっているの恐ろしさを知り[あなたはコロナなは貴方(永野)に すぐとびつく] 外出が怖い 今日この頃 自宅で お家時間 で過ごしています。 永野

05月19日

18歳と81歳 JR九州会長 唐池恒二

2020/5/18 日本経済新聞 電子版

4月20日の小欄に仙厓和尚の言葉を紹介した。「70歳で迎えがきたら留守だといえ。80歳で迎えが来たら早すぎるといえ」。堺市に住む知人から「老人会の会合で合唱する歌詞と似ている」と、横浜のS氏から「近くの古民家の土間の壁掛けに墨書された言葉と同じ」と、それぞれ手紙を頂戴した。仙厓和尚の影響力の大きさに驚き、老いにどう向き合うかが多くの人に関心事だと気づいた。私も70歳までもう少し。老いについて考えてみようとしたとき、70代の知人から底抜けに面白い小話を聞いた。

テーマは、18歳と81歳の違い。

道路を暴走するのが18歳、逆走するのが81歳。心がもろいのが18歳、骨がもろいのが81歳。恋に溺れるのが18歳、風呂で溺れるのが81歳。ドキドキが止まらないのが18歳、動悸(どうき)が止まらないのが81歳。恋で胸を詰まらせるのが18歳、餅で喉を詰まらせるのが81歳。自分探しをしているのが18歳、みんなが自分を探しているのが81歳。東京オリンピックに出たいと思うのが18歳、東京オリンピックまで生きたいと思うのが81歳。社会に旅立つのが18歳、あの世に旅立つのが81歳。早く「20歳」になりたいと思うのが18歳、できれば「20歳」に戻りたいと思うのが81歳。「嵐」というと松本潤を思い出すのが18歳、鞍馬天狗の嵐寛寿郎を思い出すのが81歳。調べると、出典はお笑い長寿番組「笑点」の大喜利ネタらしい。で、オリジナル版に挑戦してみた。笑点と聞いて桂歌丸を浮かべるのが18歳、新珠三千代を思い出すのが81歳。(それは、昔のドラマ「氷点」でしょ) 西山和宏

○皆様 配信感謝です。歴史に 18歳・81歳考 胸にジンと来ます。

さて 81歳から どこまで行けるか^^? 体力 脚力 衰え実感しています。^^ 長崎 諫早 森永

○ 私たちにピッタリの標語? です。

最近かごっまで皆が見ているものに「鹿児島弁をしゃべる猫」があります。

youtubeで見ることができます。まだ見ていなかったらどうぞ! クマモト

○大石は店に出たり、日中学生達と意見交換したり、会食したり、まったく普通の活動をしています。
下の新聞記事は考えてしまいます。

その地区だけが潤う、近々ご当地薩摩川内市は市長交代選挙が行われます。

僕は複雑な気持ちでこの記事を読みました。

秋には鹿児島県知事選もあります。

川内原発再開問題が4年前の選挙戦の最大の論点でした。反対を唱えた2人が1本化して現職と争い勝ちとったのに当選した後はトーンダウンしたのを思い出します。

今回再びこの二人が激突します。興味深々と言ったら県民の鬨聲を買うのだろうか？

○原発には反対は、極めて安易な選挙戦略でしょう。

原発を止めて、後をどうするか論議はない。

発電では石炭とLNGで60%以上もの比率を占めています。

石油その他の火力を加えると70%以上になります。

頼みの自然エネルギーは20%未満。

原発を止めても節電騒ぎが起こらないのは、その比率が5%程度と極めて低いからです。

検察官の定年が問題になっていますが原発訴訟で最高裁まで行くと若いときから将来を嘱望されエリート街道を駆け上ってきた裁判官が担当のときには大概、原発操業はOKの判決になり地方裁判所が長く苦勞してきた裁判官では原発操業は不可になることが多いそうです。

理由ですか、裁判官も人の子ということです。

本題には外れますが、つい先日、孫娘に送ったものを貼り付けました。ポテト料理はレンチンで、本当に簡単になります

閑話開始 フレンチフライのついでにポテトチップのお話。鉄道王と言われた大富豪のコーネリアス・ヴァンダービルトが宿泊した高級ホテルで出されたポテトの料理が気に入らず作り直しを命じた。いろいろ作って出しても、だめだと何回も突き返された。

シェフは頭にきて、それならと薄くスライシ、フライにして、嫌がらせのつもりでフォークをさせない状態にして出した。ところが、これならよろしいとOKが出た。

それを作ったシェフはジョージ・クラム（1824年7月15日? - 1914年7月22日）

インディアン系アメリカ人は、その後、有名になり自分のレストランを持つようになった。

その、クラムの妹などの話からポテトチップスの誕生は、1853年8月24日とされている。

湖池屋は、日付は1962年（昭和37年）8月23日に「コイケヤポテトチップスのり塩」を発売した。

2012年に発売50周年を迎えたのを記念して8月23日を「コイケヤポテトチップスの日」としている。

=====株式会社エムエフアイ 西山 和宏

○人吉の相良家の事、遅くなりました。

関連史跡 人吉城 800年続いた相良家の江戸時代の居城

青井阿蘇神社 相良家の氏神 楼門は国宝 ここは一回だけ行ったことがあるが、一

見の価 文化苑 青井神社の大宮司・青井家の屋敷 西南戦争時には薩軍に加わった人吉隊

の宿舎となる。 永国寺 相良家第9代前統の開基 西南戦争では田原坂の後、33日間薩軍の本陣
となる。 武家蔵 西南戦争時、西郷隆盛となる。もとは相良藩家老の家屋敷。
願成寺と相良家墓所 大体以上の感じです。

ドライブ歴史旅は家久と豊久中心で行きましょう。
ただ問題はいつ県境を越えて行けるようになるかです。向こうで怪しまれるようなことは避けたいです。
クマモト タツオ

○5月18日 反骨の民 熊襲・隼人 8本

NO. 3 右下段『今に至るまで……』にご注目いただきたい。
オックスフォード大学だかケンブリッジ大学にはマネジメント学部のごときものはない。
それについては古典を学べば習得できるということであった。
歴史には世界・東洋・日本の境はなく広く浅く、時には深く学ぶものであろう。
そこには先人の知恵とともに悲哀もあり愛情のこもった物語もある。
楽しく読みつつ学べるところは学びたい。
薩摩隼人は御所の警護にあたり犬の鳴き声で互いの連絡をとりあった。

○またまた西山博士からなが〜い史料が到着、スマホしか手元にないのでまず第二部まで読みました。
坂元町にセバル（団地）ありますよね。大龍小学校6年生の時の友人、古川照明くんがふと目に浮かんだ。ここ
が薩摩と大隈の隼人族が会合？した場所…1300年前のことですね。

また曾族の活躍を新聞記事で今朝知ったばかりなのに今度は熊襲のその字が曾於のその字と関連していた興味
深々日本古代史です。

交通（インフラ）は街道？それとも船？

さて中世史と古代史どちらから手をつければいいのか？

○メール添付でいただいた「反骨の民、熊襲・隼人」を印刷して一読を終えたところです。

一言で言って「大変いいものを送っていただきました」です。

これから2回3回読み返すと思いますが、新聞記事をきっかけに考え始めた熊襲・隼人の全体像がわかってき
ました。そして初めて知ることが多いです。

中に「弥五郎どん」や「隼人塚」など興味のある名前もいろいろ出てきます。

これを読んで、自分のルーツのことを改めて考えました。

私の先祖は残念ながら曾祖父までしか掘めていませんが、そんな段階ではなく自分はどこから来たのかを考
えます。

文中にあるようにいずれ南方からきたのでしょうか、その後どのような経路を経て今日の自分があるのか、考
えさせられました。

薩摩の歴史とはまた違うスケールでの勉強もしないといけませんね。 クマモト

○南九州辺りへは、南方から腕輪・耳飾り・髪飾りなどに加工する貝を求めて沖縄・琉球から上ってきたよ
うだと聞いたことがあります。北九州の宗像神社もやはりアワビなどの貝を求めて朝鮮から日本へ渡り、日
本海側を北上したもののようです。

螺鈿と美味なるものを求めて南から北から豊穡の美しき国へやってきたものだと思います。

最初は出稼ぎ、その後、家族を呼び寄せて定着したのでしょうか。

武力で侵略したのではないと思っています。 西山 和宏

○皆様 配信感謝です。 歴史に 18歳・81歳考 胸にジンと来ます。

さて 81歳から どこまで行けるか^^?体力 脚力 衰え実感しています。^^

長崎 諫早 森永

○私たちにピッタリの標語? です。最近かごっまで皆が見ているものに「鹿児島弁をしゃべる猫」があります。youtube で見ることができます。まだ見ていなかったらどうぞ! クマモト

○5月20日

コロナ騒ぎ、未だ収まらずという中で皆さんいかがお過ごしでしょうか。

鹿児島の中心地・天文館周辺は人出が戻ってきて、山形屋は16日(土)入店者が前年比70%、17日(日)は85%だったそうです。売上は日曜日には前年を上回ったそうです。しかし、調子に乗ると怖いので、不要不急の外出はしないようにしています。特に年寄りですからね。

南日本新聞に5日連続で掲載された「隼人起つ」も大石くん添付の記事にあるように今日で終わりました。知らないことばかりで、目が覚めた思いをしましたが、もう少し詳しいことを知りたいという思いも残ります。

私は、当時石造物に夢中になっている中で2015年3月に二つある「隼人塚」のうち、日豊本線の隼人駅近くの「隼人塚」を訪ねたことがありました。

その時に詳細に見た、五重塔3基と四天王像には鹿児島にこんな立派のものがあるのかと感激しました。そのブログのアドレスを下記に記します。 クマモト

<https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/diary/20150329/> クリックして見てください。

○隼人の瀬戸の岩ほも鮎走る

吉野の滝になほしかずけり

で検索したら下記のようなものがありました。他にも いろいろあります 検索してみてください。隼人の瀬戸というのは、現在の鹿児島県阿久根市と長島との間にある黒の瀬戸のことです。

歌の意味は、隼人の瀬戸の景色もよいが鮎の走る奈良の吉野川の急流には、やはり及ばなかったよ。というものでしょう。故里の吉野川に似た隼人の瀬戸の激流をみて、鮎の光る吉野川と比べて大和を恋しく思って作った歌です。

隼人族は、敏捷人(はやひと)と呼ばれて勇敢ですばしい豪族で、しばしば大和朝廷そむきました。歌の作者も養老4年3月、隼人平定の征大將軍として出陣します。なにせ隼人軍は強くて歯がたちません。しばしば敗けるばかり。そこで宇佐神宮の神軍に援助を頼みます。神軍には智恵者がいて木偶人形を作って、面白おかしく角力や芝居を演じさせます。隼人軍がおかしがって笑い興じ油断しているすきをみて攻めこみ、ようやく勝利に導いたといひます。その木偶人形が中津の古要神社に伝わって国の重要文化財になっています。その伝統が有名な北原人形芝居を創っていったのです。

旅人は九州のことをよく知っていたので、聖武天皇神亀5年に九州都府太宰府の長官として任ぜられます。ここにあしかけ3年滞在し、山上憶良と共に筑紫(九州)万葉歌壇の隆盛をつくります。この歌も、その神亀5年のころ作られたといひます。九州の地、太宰府に赴任してきて、あの7年前の隼人軍との激しい戦いを回想したにがいありません。隼人の瀬戸も激しい流れで大変美しい景色であったが、わが故里の吉野川のあの鮎がきらきらって走り廻っているのには及ばないと奈良を恋しく思っている歌です。 西山 和宏○



○5月27日 朝

熊襲・隼人に関して・・・2020・5・27朝久しぶりで市営バスで鴨池の家から天文館の店に出勤しました。

このところバスの密が怖くて（ぼく自身はほんとうは気にしていないのですが）マイカー出勤でした。車中、30分文庫本「街道をゆく3・肥薩の道」を読んでいました。西山くんが寄こしてくれた隼人・熊襲に関連したページに遭遇したので（基礎知識ですが）添付します。

コロナ騒ぎが一段落したら八期歴史部かごしまチームの隈元くんをリーダーに日向・佐土原・都城方面を中心に島津家久・豊久の活躍の軌跡を辿ろう！を楽しみにしています。・・・ひょんなことから、これまた曾於（大隅）をベースにした「古代・隼人起つ」が南日本新聞に4回シリーズで連載されました。頭が一気に千年遡ってしまいました。頭の中から熊襲・隼人が離れなくなっています。中国では唐のあとの則天武后の頃ですかね。いや、三国志時代までは行かなくても南北朝のころですか。

この1年、江戸時代の終わりごろ（維新前後から）江戸時代の始まり（織田・豊臣・徳川の戦国時代）と日本史の中核を探ってきました。

そしてまたこの5年ほどの間にいちばん気の置けない仲間たちである八期旅行で木場祥雄くんの肝いりで古墳・飛鳥の日本の原風景をこの目で再復習する機会を得ました。

人生八十年の総仕上げに日本人のルーツから総復習をする機会を得られたことは幸運だったと思いますね。

○可能性ありますね

中村君の住所は北九州市小倉北区篠崎 5-7-7

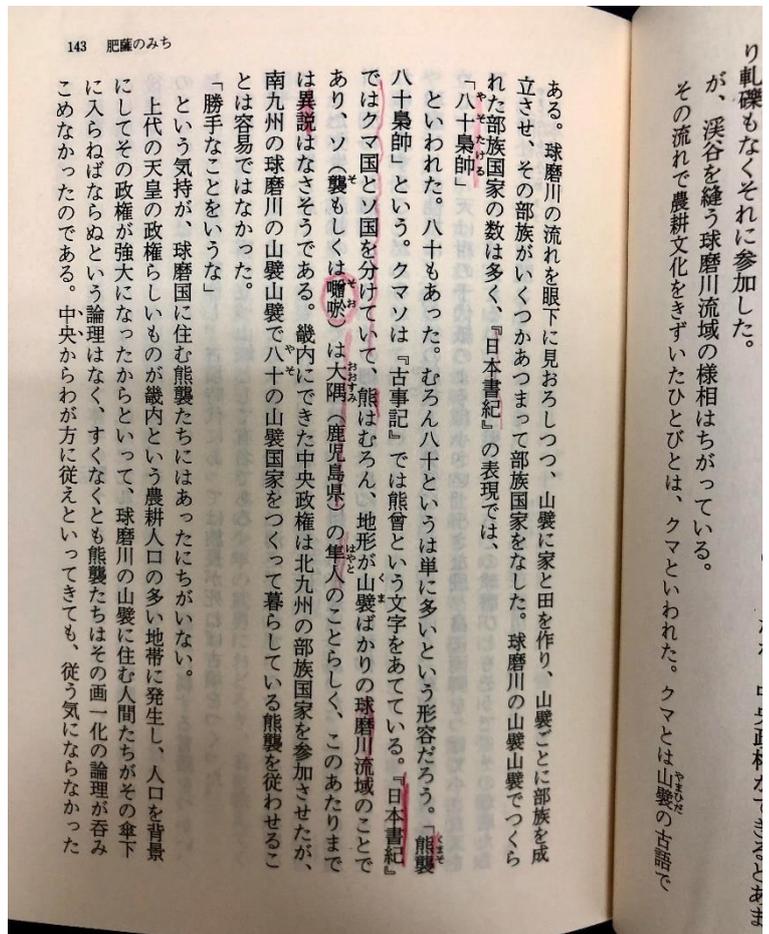
12年前、桜を植えたとき天文館で西さんなどと一緒に飲みました。

頂きましたものは、後ほど読ませていただきます。

○作者の中村明蔵氏は同期の故・中村修さんの兄では？隈元氏の話し。

○「酒の名を賛むる歌」から2首の「.....古の.....」と、そのころから見ても「いにしえがあり」、（いにしえのおしえをきいてもとなえても.....）

「...物いふよりは、酒飲みて....」とは、感覚的に現代と離れていないのは、驚きであり面白い。



○昔の人も、大昔の人も、感情(思いの種類とでもいうのか)は今とも、2000年後(地球があるとしたら)も変わらないのですね。

○中村明蔵さんはこのような研究で賞もとった有名な先生ですね。

一読しましたが、漢字の伝来の話などこれまた初めて知る興味ある話でした。

ところで、中村明蔵さんは私の記憶に間違いがなければ、私と同じ一組の今は亡き中村修さんのお兄さんではないのでしょうか。

私も誰に聞いたかの明確な記憶はありませんが、誰からか聞いたような気がします。

彼の職場は中央公民館近くの教育委員会辺りの建物で、仕事もそれらに関係するようなものだったと思います。

彼は、私の職場にも同窓会の打ち合わせか何かで来たことがあり、一緒にコピーをした記憶があります。

誰か知っている方はいませんか。 クマモト

○確かに「どうでもいいことです」がかごしまにはたいした歴史研究者(郷土史家)が多いのですね。古代史、中世史、近代史、明治以降…それぞれに。

傘寿前後にいい勉強が出来ました。やっと自分の立ち位置がこの歳になって分かりました。

○大石さん

情報連絡ありがとうございます。

1 ページ 送ってください。よろしく木場 祥雄

○歴史文献 資料に接すれば 遠いご先祖にも思いが飛びます。

縄文・弥生の時代にも ご先祖さまは居たわけで どんな生活だったのかな？と

玉龍時代 河口先生のお話を聞きながら思ったことでした。

長崎 諫早 森永

○またまた貴重な史料ありがとうございます。

私は島津本宗家のこともまだ知らないことばかりですが、家老のことなども大いに興味があります。

これからの自分に残された時間はどれほどあるかわかりませんが、少しずつ調べてみたいと思っています。

ちょっとだけ走り読みしましたが、コピー要ありということで、これからコピーします。 クマモト

○またまた勉強勉強...学生時代は「何とか試験」何ページから何ページまで...と点を取る為に憶える勉強でしたので「興味」などあるはずもなくつまらないものでしたが、なんで今何でも面白いのですかね。今日も例の隼人たちに気が向いて霧島の駅などに置いたある情報誌のバックナンバーを 15 冊(1 冊 200 円)注文しました。

西山くんの今回の家老の系譜もプリントアウトしてじっくり読ませていただきます。

○大石くんの今回の発注を見ると、元々古代史にも詳しくあったのが、「隼人」についていよいよ本気で取り組んでみようという気持ちになったのだろうと推察します。このように身近にたくさんの材料があったとは思っていませんでしたが、大石くんの言うように自分の「興味」で知ることの楽しさは最高です。 クマモト

○ありがとうございます。

我が国で古代(古墳時代から飛鳥時代)と言っても中国では唐代ですから思えば隼人、熊襲と言っても恐ろしく？大昔ではないですね。

この際うんと遡った方が中世(室町・戦国時代)がより身近に感じるとも言えます。

○しかし、凄い情報誌があるものですね

薩摩・大隅・日向には、書を大切に読む文化があったようです。

いつのころか遠い昔、読んだ中国の物語で最後に敗者が東方の海に舟を浮かべたとありました。

推察するに、着いた場所は、日南の油津あたりで舟で来たと言え、出身地がばれ、追手がかかるのを避けるために、天から降ったと言ひ、その辻褃合わせに高千穂の峰の天逆鉾を挿したのであろう。

肝心なことは、かれらは舟でやってきたということです

舟には、持てる限りの書物・巻物が積まれていたはずで

中国では歴史的に戦いに敗れて逃げるとき書物・巻物を持てるだけ持ち、持てない物は壁に塗り込めました。

それらと天逆鉾という卓越した技術工芸品を原住民に見せ、書物からの知識、工芸品の技術を隼人など原住民に教えて、武力を行使することなく平和裏に支配者の座を得ました。

原住民は書物にある文字に関心を持ち大いに学びました。

このことは後々まで大きな影響を与えました。

あの「山」は文字でしょう。

原住民を手なずける決定的な技術は、鮎をとる技術に優れていたことでした。

彼らは、中国でも鮎がとれる地域から来たはずで

旨いものを食べさせて、歓心をかいました。酒も造ったでしょう。

以上は、思いつくままに99%推測と妄想によるものです。

西山 和宏

〇〇5月26日

ある調べものをしていたら **薩摩藩家老の系譜** というものに遭遇しました。

系図など かなり整理されたものがありました。

すでにお持ちかもしかもしませんがあなたなら役立てて貰えると思ひ送ります。

西山 和宏

系譜は PDF で下に添付します。大石

〇Subject: Re: 薩摩藩家老の系譜

大石くんの今回の発注を見ると、元々古代史にも詳しく、**「隼人」**についていよいよ本気で取り組んでみようという気持ちになったのだろうと推察します。このように身近にたくさんの材料があったとは思ひませんでした。大石くんの言うように自分の**「興味」**で知ることの楽しさは最高です。 クマモト

2020年5月26日(火) 18:02 大石慶二 <kjoishi3@gmail.com>:

この中から15冊注文しました。1500年前の薩摩、日向、大隈...なんとマニアックでしょう。

2020年5月26日(火) 17:58 大石慶二 <kjoishi3@gmail.com>:

またまた勉強勉強...学生時代は「何とか試験」何ページから何ページまで...と点を取る為に憶える勉強でしたので「興味」などあるはずもなくつまらないものでしたが、なんで今何でも面白いのですかね。今日も例の隼人たちに気が向いて霧島の駅などに置いたある情報誌のバックナンバーを15冊(1冊200円)注文しました。

西山くんの今回の家老の系譜もプリントアウトしてじっくり読ませていただきます。

〇 大石くんの今回の発注を見ると、元々古代史にも詳しく、**「隼人」**についていよいよ本気で取り組んでみようという気持ちになったのだろうと推察します。このように身近にたくさんの材料があったとは思ひませんでした。大石くんの言うように自分の**「興味」**で知ることの楽しさは最高です。

クマモト

〇ありがとうございます。我が国で古代(古墳時代から飛鳥時代)と言っても中国では唐代ですから思えば隼人、熊襲と言っても恐ろしく?大昔ではないですね。

この際うんと遡った方が中世（室町・戦国時代）がより身近に感じるとも言えます。

○しかし、凄い情報誌があるものですね

薩摩・大隅・日向には、書を大切にし読む文化があったようです。

いつのころか遠い昔、読んだ中国の物語で最後に敗者が東方の海に舟を浮かべたとありました。

推察するに、着いた場所は、日南の油津あたりで舟で来たと言え、出身地がばれ、追手がかかるのを避けるために、天から降ったと言ひ、その辻褃合わせに高千穂の峰の天逆鉾を挿したのであろう。

肝心なことは、かれらは舟でやってきたということです舟には、持てる限りの書物・巻物が積まれていたはずで。

中国では歴史的に戦いに敗れて逃げるとき書物・巻物を持てるだけ持ち、持てない物は壁に塗り込めました。

それらと天逆鉾という卓越した技術工芸品を原住民に見せ、書物からの知識、工芸品の技術を隼人など原住民に教えて、武力を行使することなく平和裏に支配者の座を得ました。

原住民は書物にある文字に関心を持ち大いに学びました。このことは後々まで大きな影響を与えました。あの「山」は文字でしょう。

原住民を手なずける決定的な技術は、鮎をとる技術に優れていたことでした。

彼らは、中国でも鮎がとれる地域から来たはずで。旨いものを食べさせて、歓心をかいました。

酒も造ったでしょう。

以上は、思いつくままに99%推測と妄想によるものです。 西山

○休みもあり 婿さんに 行こうと言われ ヤッパリ 出て来ました👏 遠くは (((; ° D °)))がクガクブルブルか

ら 千葉の中と 言っていたのに 今日は茨城 鹿島です 4月なら 恐いから断りも出来たのですが 😊 い

すみ鉄道に乗って見たかったので 🧑🏻 館山は 里見八犬伝💎 大多喜は 大多喜城 を 大河ドラマに と 登

りが立ってましたよ 😊 コロナの最盛期の母の日には 政府より早く コロナ見舞いまで貰って 終息中に

向かいつつある今 旅行 🚗👛 に来て これでコロナに かからなかったら 万歳 \ (^o^)/ で一

す 🎡 御互いに もう少し元気に 生ましょう 🎣 香取神宮 に 着きました 🎵

○5月29日 大石発

・相良氏に興味があって、パソコンを覗きながら、肥薩線を辿っていました。

今、司馬遼太郎の『街道をゆく3』肥後を読んでいるのと、隼人・熊襲の足取りにも興味もあって。

どこかの病院の院長先生の「プライベートルーム」から相良清兵衛という人物が人吉でクローズアップされている。云々・・・なぜか固有名詞に惹かれる癖があるのか、いつのまにか読み続けていたら本田さんのライフワーク『家久・豊久』の母方のルーツがいろいろ出てくるのでコピーしてみました。おそらく本田さんは既知のことかも知れませんが・・・

添付してみますのでよろしく・・・・・・・・・・

○伝説話とはなっていましたが、私はかなり史実に沿った部分が多いと思いました。

それでも話が錯綜していて理解しにくい部分があったので、自分なりに読み込んで手書きですがまとめてみました。

読めるか読めないかぎりぎりですが、興味があれば読んでみてください。

前にも添付したと思う系図と一緒に送ります。

それにしても面白い話です。

大石くんの最近の人吉・相良氏への傾倒ぶりが見つけ出した傑作だと思います。

○私の手に負える領域を遥か超えています時空を超えて同じ時代にいる感覚ではないでしょうか？

史料と想像で、創造してください。 西山

○ 5月30日 大石 慶二 様

メール、拝見しました。 良く、探求されておられますね？！

実は、このところ、約1年前から、携わっている地元の永吉小学校創立150周年の「記念誌」の編集長のボランティア仕事を承っており、今、その製本化（2000部）と配布、発送等について、ここ数日掛かりきりの状態です。

すぐに、御返事したいところですが、少々時間をいただきたいと思います。よろしく、御容赦願います。

貴重なお話ですが、以前から、聞いていることもあり、良く確認してみます。よろしく、御理解ください。

2020, 5, 30, 本田 哲郎

○おおいしです。了解しました。

別にお返事を頂かなくてもいいんです。

単に（ご存知のことと思いますが）こちらは面白い話なので、もしかしてご参考に…と言った感じです。

こう言うのをノンフィクションストーリーと言うのでしょうか。

○